



## 文化芸術活動への助成制度及び日本版アーツカウンシル（試行）に関するアンケート

（独）日本芸術文化振興会（以降「振興会」という。）では、「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第3次基本方針）」（平成23年2月8日閣議決定）において、日本版アーツカウンシル導入のための試行的な取組を実施することとされたことを踏まえ、有識者によりとりまとめていただいた「文化芸術活動への助成に係る新たな審査・評価等の仕組みの在り方について」に基づき様々な取組を進めています。

この取組は文化芸術への支援策をより有効に機能させることを目的としていますが、振興会におけるこれまでの取組を検証するとともに、今後の展開のための課題を明らかにするため、本振興会の助成事業を活用する芸術団体等の皆さまに対してアンケート調査を実施することとしました。

本アンケートへの協力は、要望の採否には関係ありませんが、今後の助成事業の改善・充実のため御協力くださいますようお願い申し上げます。

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。

○：空白マーク    ●：正しいぬりつぶし    /：不十分なぬりつぶし

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) 今回の要望書の区分は何ですか？（回答はひとつ）

○ ① 基金による助成

○ ② 補助金による助成

(2) 今回の要望書の助成対象分野は何ですか？（回答はひとつ）

○ ① 音楽

○ ② 舞踊

○ ③ 演劇

○ ④ 伝統芸能・大衆芸能

○ ⑤ その他

(3) 文化芸術への公的支援に関する考え方を「社会的費用」から「社会的必要性に基づく戦略的な投資」と捉え直したこと（「第3次基本方針」第1 2（2）①参照）についてどう思いますか？（回答はひとつ）

[http://www.bunka.go.jp/bunka\\_gyousei/housin/kihon\\_housin\\_3ji.html](http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html)

○ ① それを意識して助成金交付要望書を作成している

○ ② 助成金交付要望書作成にあたってはあまり意識していない

○ ③ 自分たちの団体には関係がない

○ ④ 基本方針やそこで示された公的支援に関する考え方を知らない

(4) 振興会において平成23年度以降に取り組んでいる一部の分野（※）におけるプログラム・ディレクター、プログラム・オフィサーの配置についてご存じですか？（回答はひとつ）

※「一部の分野」とは、平成26年度時点では、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能・大衆芸能を指します。その後の設問についても同様です。

○ ① 知っている

○ ② 知らない（→問(7)へ）

(5) (4)で「知っている」と回答した方に伺います。プログラム・ディレクター、プログラム・オフィサーは助成対象団体に対する助言も行っていますが、貴団体から積極的に問い合わせを行ったことがありますか？（回答はひとつ）

○ ① ある

○ ② 連絡方法を知っているが、問い合わせをしたことはない

○ ③ 連絡方法を知らない



悪い



良い

- (6) (4)で「知っている」と回答した方に伺います。プログラム・ディレクター、プログラム・オフィサーを配置していることについて、どうお考えですか？（回答はひとつ）
- ☐ ① 評価する（よいことだと思う、他の分野にも広げた方がよいと思う）
- ☐ ② 評価しない（あまり意味がないと思う）
- ☐ ③ 分からない
- (7) 振興会において取り組んでいる助成対象活動に関する審査基準の公開についてご存じですか？（回答はひとつ）
- ☐ ① 知っている ☐ ② 知らない（→問(10)へ）
- (8) (7)で「知っている」と回答された方に伺います。審査基準を事前に公開していることについて、どうお考えですか？（回答はひとつ）
- ☐ ① 評価する（よいことだと思う、他の分野にも広げた方がよいと思う）
- ☐ ② 評価しない（あまり意味がないと思う）
- ☐ ③ 分からない
- (9) (7)で「知っている」と回答された方に伺います。審査基準を意識して助成金交付要望書を作成していますか？（「本活動の企画意図」の欄の記述など）（回答はひとつ）
- ☐ ① 意識して作成している
- ☐ ② あまり意識していない
- ☐ ③ どう反映させればよいのか分からない
- (10) 振興会において取り組んでいる一部の分野における助成対象活動に対する事後評価の実施についてご存じですか？（回答はひとつ）
- ☐ ① 知っている ☐ ② 知らない（→問(12)へ）
- (11) (10)で「知っている」と回答された方に伺います。事後評価を実施していることについて、どうお考えですか？（回答はひとつ）
- ☐ ① 評価する（よいことだと思う、他の分野にも広げた方がよいと思う）
- ☐ ② 評価しない（あまり意味がないと思う）
- ☐ ③ 分からない
- (12) 日本版アーツカウンシル導入のために、一部の分野以外の基金による助成に係る活動や映画の製作についても、プログラム・ディレクター等を配置するような試行的取組について、今後必要であると思いますか？（回答はひとつ）
- ☐ ① 必要である ☐ ② 必要ではない ☐ ③ 分からない
- (13) 日本版アーツカウンシル導入のために、一部の分野以外の基金による助成に係る活動や映画の製作についても、事前に審査基準を公表するような試行的取組について、今後必要であると思いますか？（回答はひとつ）
- ☐ ① 必要である ☐ ② 必要ではない ☐ ③ 分からない
- (14) 日本版アーツカウンシル導入のために、基金による助成に係る活動や映画の製作についても、事後評価を導入するような試行的取組について、今後必要であると思いますか？（回答はひとつ）
- ☐ ① 必要である ☐ ② 必要ではない ☐ ③ 分からない



悪い



良い

(15) 日本版アーツカウンシル導入のために、審査結果のうち不採択の理由を当該団体に対して文書により報告するような試行的取組について、今後必要であると思いますか？（回答はひとつ）

- ☐ ① すべての団体に対して行うことが必要である
- ☐ ② 希望のある団体に対して行うことが必要である
- ☐ ③ 必要ない
- ☐ ④ 分からない

(16) 日本版アーツカウンシル導入のために、審査結果のうち採択理由を公表するような試行的取組について、今後必要であると思いますか？（回答はひとつ）

- ☐ ① 採択されたものすべてについて行うことが必要である
- ☐ ② 採択されたもののうち公表に同意したものについて行うことが必要である
- ☐ ③ 必要ない
- ☐ ④ 分からない

(17) 日本版アーツカウンシル導入のために、助成対象活動に対する事後評価の結果を当該団体に対して文書により報告するような試行的取組について、今後必要であると思いますか？（現在は、口頭で伝達しています。）（回答はひとつ）

- ☐ ① すべての団体に対して行うことが必要である
- ☐ ② 希望のある団体に対して行うことが必要である
- ☐ ③ 必要ない
- ☐ ④ 分からない

(18) 日本版アーツカウンシル導入のために、助成制度や芸術団体の活動に関する様々な情報の収集・提供をするような試行的取組について、今後必要であると思いますか？（回答はひとつ）

- ☐ ① 必要である
- ☐ ② 必要ない（→問(20)へ）
- ☐ ③ 分からない（→問(20)へ）

(19) (18)で「必要である」と回答された方に伺います。具体的にどのような情報が提供されるとよいと思いますか、ご記入ください。（例：要望書の作成に関するFAQ、採択された活動に関する批評等の情報、助成を受けた活動に関するデータ等。）（自由記述）



悪い



良い

(20) 今回、初めて助成制度に応募された団体に伺います。この助成制度を何によって知りましたか？（複数回答可）

- ☐ ① 所属する団体からの情報（会報、広報誌、メールマガジンなど）
- ☐ ② 他の芸術団体の公演等の場で掲示されているポスター
- ☐ ③ 募集案内チラシ
- ☐ ④ 日本芸術文化振興会のホームページ
- ☐ ⑤ 「シアターガイド」サイト上に掲載されている本助成制度のバナー広告
- ☐ ⑥ 「チケットぴあ」サイト上に掲載されている本助成制度のバナー広告
- ☐ ⑦ 「カンフェティ」サイト上に掲載されている本助成制度のバナー広告
- ☐ ⑧ 「コリッチ舞台芸術！Bete」サイト上に掲載されている本助成制度のバナー広告
- ☐ ⑨ 「東京アートビート」サイト上に掲載されている本助成制度のバナー広告
- ☐ ⑩ 「ヤフージャパン」サイト上に掲載されている本助成制度のバナー広告
- ☐ ⑪ 雑誌の広告
- ☐ ⑫ 地方公共団体からの情報
- ☐ ⑬ その他

アンケートへご協力くださいまして、ありがとうございました。